



育つ力

9月20日・21日で0歳児～2歳児のわくわくDAYを行いました。廊下や2階のホールでいつも遊んでいる遊具を使ったサーキット遊びを楽しみました。今年は幼児さんの応援団が来てくれました。乳児は運動会には参加しませんが、応援してくれるお友だちやお兄さんお姉さんの前で頑張りました。

0歳児さんは、マットの山を立てて昇り降りするのも一苦労で、ハイハイで昇る子や降りれずに泣いてしまう子もいましたが、2歳児になると一本橋をするする渡れたり、梯子の上を上手に歩く子もいます。

元白梅学園大学学長の汐見稔幸先生は「人間は自ら育とうとする唯一の動物」だとおっしゃっています。動物はみな自育的生命であり、動物は本能の世界で生きているが、人間は本能プラス後で身につく社会性が必要で、その社会性をどう身に付けるかを一生懸命考えて実行するのはその子自身である。どうなっていこうかと自分で考えて、「これを学ぼう」とか「この学びを手伝って」と助けを求める等、全部子ども自身が決めないと身につかないのではとおっしゃっています。私たちは園で毎日過ごす中で、子どもたちは自ら育つ力を持っていることを実感しています。やってみたいと思える遊びや活動をこれからもたくさん見つけていきたいと思います。

園長 興津 夏子

